

第46回定例会

日時 令和2年8月1日(土) 15:00~17:00
場所 自治会館 1F 集会所
出席者 11名



■議題

1 同行避難の周知の注意点

「風水害の時 ペットも避難所に連れて行くことができる(同行避難)」

- ・「震災の時は、避難所によって違う」ことも一緒に周知しないと、いつでも避難所に同行避難できると勘違いされてしまう恐れがある。
- ・何れにしても、避難する時には、ケージが必要なことの周知が必要。

2 メンバーからの情報提供

(1) 昨年の台風19号の時に現場が混乱したエピソード

川崎市のポータルサイトには、「ペットと同伴するときには、ケージに入れて」の文言が明記されていたが、現場で情報が共有されていなかったためにペットを受け入れなかったり、猫をカバンに入れてきた市民がいたりなど、混乱が生じた。

(2) 環境省「人とペットの災害対策ガイドライン<一般飼い主編>災害、あなたとペットは大丈夫? AさんとBさん」情報共有

- ・別の地域のペット受け入れ避難所に避難しても良い。日頃から、家の近くのペット同行避難所を幾つか探しておくが良い。また、その避難所へのルートも幾つか調べておくが良い。
- ・ガイドラインでは、同行避難であって同伴避難ではない。

(3) 熊本地震のとき、避難所で同伴避難があった。近所同士の仲が良かったために大きな問題はなかった。通常は、ペットと飼い主とは、別の部屋になる。

ケージを外に並べ、雨が降ったらシートを掛けるような飼養をしている避難所もあった。

(4) 東日本大震災の時の福島では、ボランティア団体が支援に入った。

(5) ペットは軒下や外で過ごすことが多いので、外で過ごすことが難しそうな場合は、日頃から預け先を探しておくが良い。

(6) 熊本地震のとき注目された支援

- ・竜之介(たつのすけ) 動物病院
- ・ワンちゃんハウス
- ・NPO 法人ピースウィズジャパン

広い場所で、ペットと一緒に家族が暮らすことができる支援をしていた。

(7) PET RESCUE (動物病院) 川崎市でも獣医師会が対応することになっている。

(8) 過去に、猫カフェがボランティアで猫を預かる支援があった。

(9) 新潟中越地震では、小千谷市の要請を受け、自衛隊はペット同伴避難可能なテントを設置した。

(10) 大人しい犬は、避難所の室内に避難できた。

(11) 川崎市の同行避難訓練について

- ・2015年から毎年している。

- ・サッカーゴールを倒してケージとして使っていた。
- ・犬用、猫用のテントを用意。事前申し込み制の同行避難訓練をしていた。

3 同行避難マニュアル案について

- (1) 埼玉県「ペット同行避難ガイドライン」を参考にして作成している。
※次回の定例会までに、埼玉県のガイドラインを読んでくる。【全員】
- (2) 今後、マニュアル案を「白鳥公園編」として作り上げていく。
※次回の定例会までに、マニュアルの目次（項目）、用語の定義等について書き出してくる。
- (3) マニュアルのタイトルは
「ペットといっしょの避難マニュアル（白鳥公園編）」とする。
- (4) マニュアルには、飼い主の会に入れない人は、同伴避難ができないことを明記する。
※飼い主さん達で避難所を運営することを知ってもらう。

4 今年度の活動計画

- (1) 12月までに「ペットといっしょの避難マニュアル（白鳥公園編）」を作成
- (2) 1月に、来年度の予算案を作成
- (3) マニュアルは、先ず、白鳥公園での同伴避難所開設について作成する。
この部分が作成できれば、避難所の看板に、ペット同伴避難場所が白鳥公園であることを明記できる。

白鳥中学校にペットは入れません。
ペットをつれての避難は白鳥公園です。

看板への追記については、危機管理室に問合せる。



■次回の定例会

日時 9月5日（土）15：00～17：00
場所 自治会館 1F 集会所

- 内容
- (1) 白鳥公園にて、避難所としてどのように活用できるかを全員で視察。
※自治会館で検討するために使う白鳥公園の動画を撮影。
 - (2) 自治会館にて、避難所開設マニュアル部分について検討。
※動画をテレビに映しながら検討する